

# 第3回白井市在宅医療・介護連携、 認知症対策推進協議会

2018.12.13 白井市保健福祉センター

# <目次>

- 1. 医療・介護の連携の仕組みづくりについて検討①**  
「在宅医療後方支援体制の構築に向けて」
- 2. 医療・介護の連携の仕組みづくりについて検討②**  
「在宅医療・介護連携に関わる相談窓口について」
- 3. 課題別ワーキング取り組み報告、検討課題**
- 4. 第1回しろい在宅医療フォーラム開催報告**

# **1. 医療・介護の連携の仕組みづくり について検討①**

**「在宅医療後方支援体制の  
構築に向けて」**

# 在宅医療後方支援体制の構築に向けて

市内3病院長による意見交換会を開催

＜第1回：平成30年7月19日＞

市内3病院が後方支援体制構築に向けて協力して  
いくことに合意

＜第2回：平成30年10月18日＞

在宅患者情報登録のための書式検討

在宅患者への説明書の検討

各病院の受け入れ体制(担当窓口)の確認

実際の運用を想定した際の懸案事項について

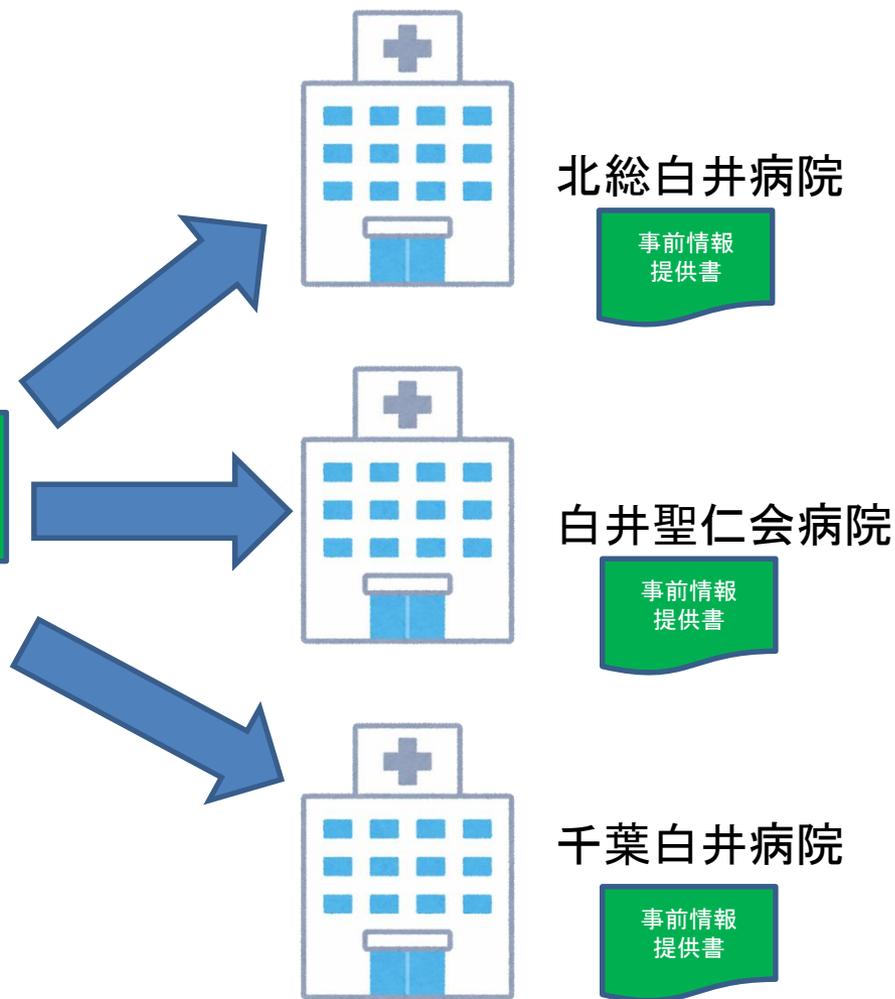
## ※前回協議会資料

- ① 3病院へ急変時の受け入れについて申し入れ、患者の事前情報提供書を提出する。



診療所

事前情報  
提供書

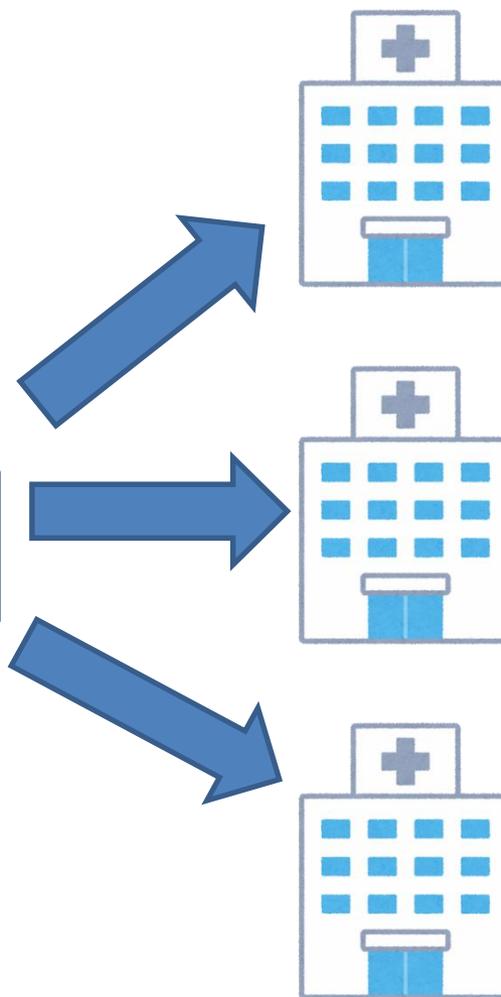


※在宅療養患者へ説明を行い、  
文書にて同意を得る。

- ② 定期的に登録患者の情報交換を行う。  
また、患者状態が著しく変化した場合は、随時情報を更新する。



診療所



北総白井病院

白井聖仁会病院

千葉白井病院

- ③ 入院・受診の必要性が発生した場合、診療所医師から連携病院へ受け入れ要請を行う。在宅で管理している患者であることを伝える。

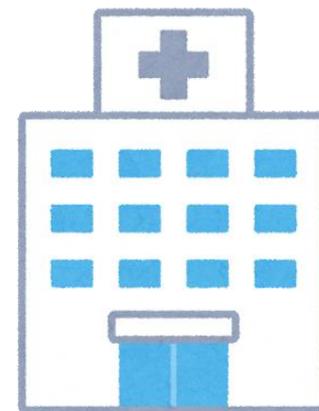


※受け入れ要請は、原則、医師(医師からの伝言を受けた看護師等も含む)からとする。

※事前に登録がある患者である旨を、病院窓口担当者から救急当番医に伝える。

- ④ 病態が安定後、診療所医師は病院と協議して患者を受け入れる。

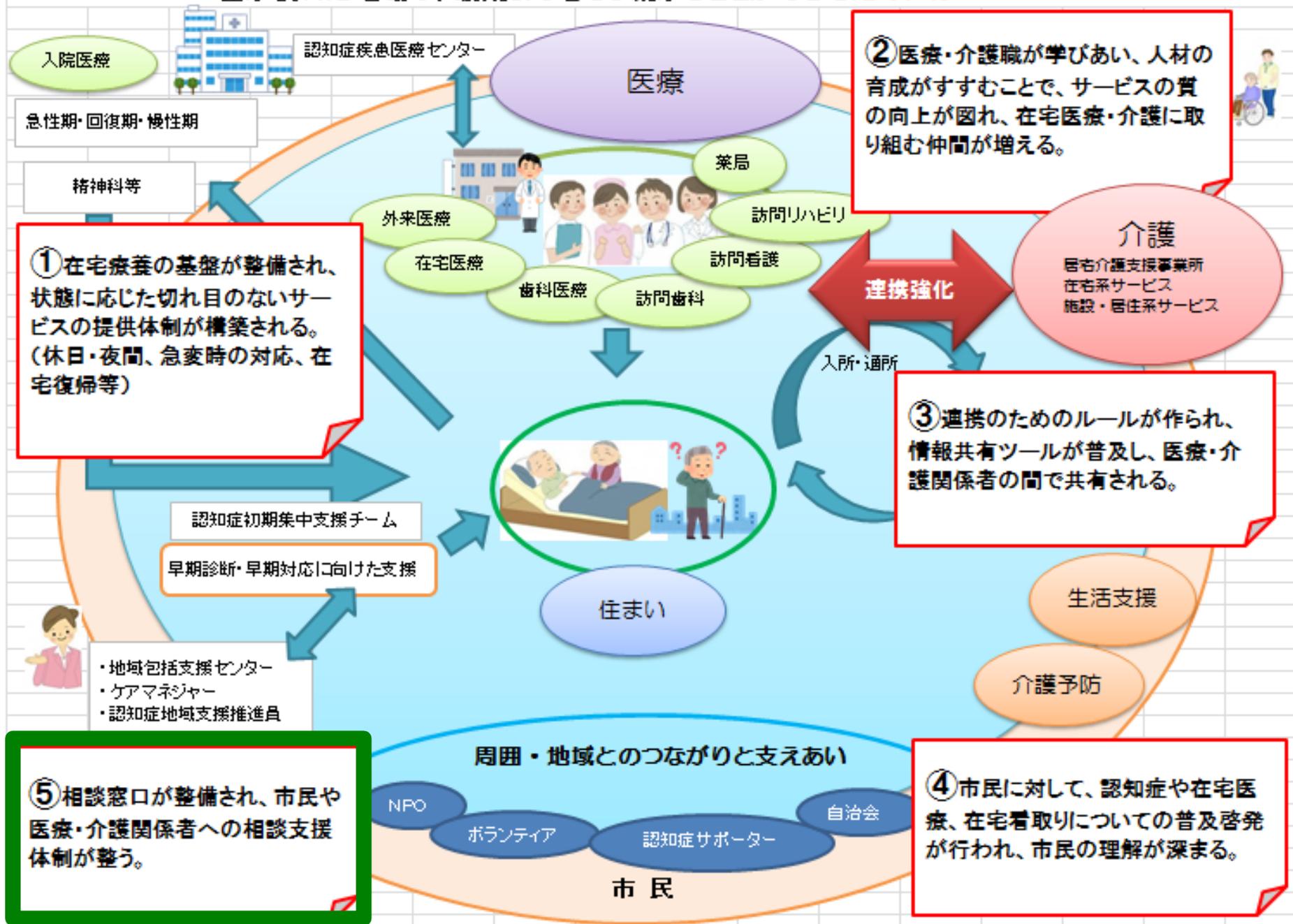
退院



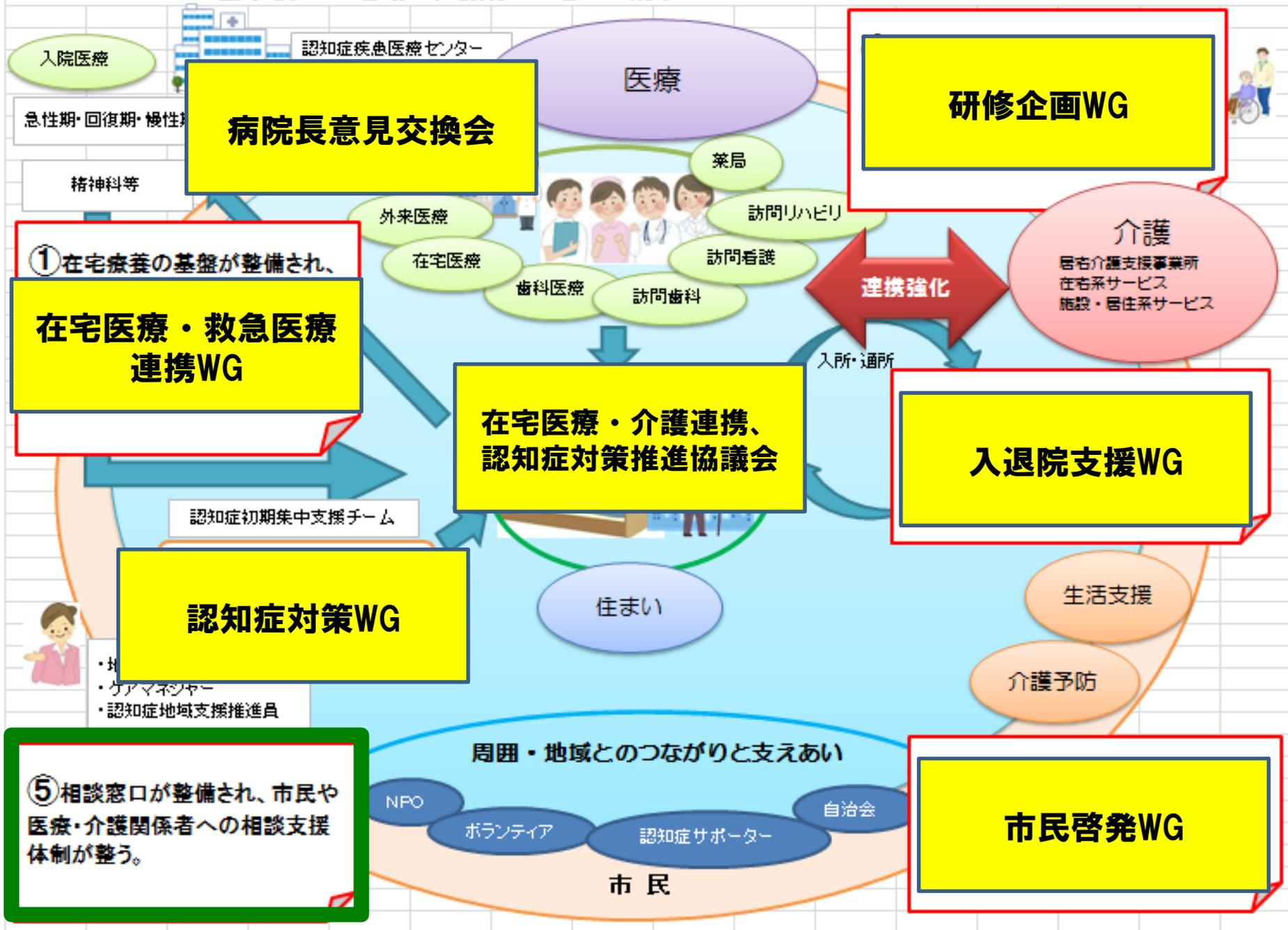
## **2. 医療・介護の連携の仕組みづくり について検討②**

**「在宅医療・介護連携に関わる  
相談窓口について」**

# 住み慣れた地域で、最期まで暮らし続けることができるためには・・・



住み慣れた地域で、最期まで暮らし続けることができるためには・・・



# 在宅医療・介護連携推進事業（介護保険の地域支援事業、平成27年度～）

- 在宅医療・介護の連携推進については、これまで医政局施策の在宅医療連携拠点事業（平成23・24年度）、在宅医療推進事業（平成25年度～）により一定の成果。それを踏まえ、介護保険法の中で制度化。
- 介護保険法の地域支援事業に位置づけ、市区町村が主体となり、郡市区医師会等と連携しつつ取り組む。
- 実施可能な市区町村は平成27年4月から取組を開始し、平成30年4月には全ての市区町村で実施。
- 各市区町村は、原則として（ア）～（ク）の全ての事業項目を実施。
- 事業項目の一部を郡市区医師会等（地域の医療機関や他の団体を含む）に委託することも可能。
- 都道府県・保健所は、市区町村と都道府県医師会等の関係団体、病院等との協議の支援や、都道府県レベルでの研修等により支援。国は、事業実施関連の資料や事例集の整備等により支援するとともに、都道府県を通じて実施状況を把握。

## ○事業項目と取組例

### （ア）地域の医療・介護の資源の把握

- ◆ 地域の医療機関の分布、医療機能を把握し、リスト・マップ化
- ◆ 必要に応じて、連携に有用な項目（在宅医療の取組状況、医師の相談対応が可能な日時等）を調査
- ◆ 結果を関係者間で共有



### （エ）医療・介護関係者の情報共有の支援

- ◆ 情報共有シート、地域連携バス等の活用により、医療・介護関係者の情報共有を支援
- ◆ 在宅での看取り、急変時の情報共有にも活用

### （キ）地域住民への普及啓発

- ◆ 地域住民を対象にしたシンポジウム等の開催
- ◆ パンフレット、チラシ、区報、HP等を活用した、在宅医療・介護サービスに関する普及啓発
- ◆ 在宅での看取りについての講演会の開催等



### （イ）在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

- ◆ 地域の医療・介護関係者等が参画する会議を開催し、在宅医療・介護連携の現状を把握し、課題の抽出、対応策を検討

### （オ）在宅医療・介護連携に関する相談支援

- ◆ 医療・介護関係者の連携を支援するコーディネーターの配置等による、在宅医療・介護連携に関する相談窓口の設置・運営により、連携の取組を支援。

### （ウ）切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

- ◆ 地域の医療・介護関係者の協力を得て、在宅医療・介護サービスの提供体制の構築を推進

### （カ）医療・介護関係者の研修

- ◆ 地域の医療・介護関係者がグループワーク等を通じ、多職種連携の実際を習得
- ◆ 介護職を対象とした医療関連の研修会を開催等

### （ク）在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携

- ◆ 同一の二次医療圏内にある市区町村や隣接する市区町村等が連携して、広域連携が必要な事項について検討

# 在宅医療・介護連携推進事業の手引き Ver.2

## 厚生労働省 老健局(平成29年3月)

※手引き 27ページより抜粋

### (オ)在宅医療・介護連携に関する相談支援

地域の在宅医療・介護連携を支援する相談窓口の設置・運営を行い、**地域の医療・介護関係者、地域包括支援センターからの**、在宅医療・介護連携に関する事項の相談の受付を行う。

また、必要に応じて、退院の際の地域の医療関係者と介護関係者の連携の調整や、患者・利用者又は家族の要望を踏まえた、地域の医療機関等・介護事業者相互の紹介を行う。

さらに、相談対応の窓口やその役割が関係者等に明確に理解されるよう、「在宅医療・介護連携支援センター」等の名称を設定し、関係者等に周知する。

※手引き 28ページより抜粋

## (オ)在宅医療・介護連携に関する相談支援

### 【実施内容・実施方法】

- (1) 配置する人材は、看護師、医療ソーシャルワーカーなど医療に関する知識を有し、かつ、介護支援専門員資格を持つ者など介護に関する知識も有し、実務経験がある者が望ましい。
- (2) 地域の医療・介護関係者等に対して、窓口の連絡先、対応可能な時間帯等を周知する。
- (3) 運営については、地域の医療・介護関係者が参画する会議等により運営方針を策定し、それに基づき相談を受け付ける。

# 在宅医療・介護連携推進事業の実施状況に関するアンケート結果(千葉県) ※H30年5月現在

## ●在宅医療・介護連携に関する相談窓口設置状況 (県内54市町)

	相談窓口設置 (自治体)	相談窓口設置 (地区医師会)	相談窓口設置 (その他)	地域包括支援 センターで対 応
実施済み	19	2	3	41
着手・作業中	↑ 柏市 船橋市 成田市	↑ 松戸市 鎌ヶ谷市	↑ 八千代市 四街道市 栄町	白井市
H30中に実施				2
実施予定なし				4

情報提供:千葉県高齢者福祉課

# 白井市の在宅医療・介護連携相談窓口の運営方針案

★委員の皆様へ 運営方針案について、ご意見を伺いたいと思います。

## 1. 目指す姿

「相談窓口が整備され、**市民**や**医療・介護関係者**への相談支援体制が整う。」

## 2. 相談体制

**市内3か所の地域包括支援センター**において、**市民**や**医療・介護関係者**からの在宅医療・介護連携に関する相談の受付を行う。

医療・介護関係者からの相談を受け付ける特定の相談窓口・コーディネーターは設けない。

# 白井市の在宅医療・介護連携相談窓口の運営方針

## 3. 実施内容・実施方法

- (1) 配置する人材は、地域包括支援センターに配置されている3職種（保健師・主任ケアマネジャー・社会福祉士）とする。各職種の専門性を活かして連携して対応する。
- (2) **市民や地域の関係者（民生委員等）**に対して、地域包括支援センターで在宅医療・介護連携に関わる相談を受け付けていることを周知する。
- (3) **地域の医療・介護関係者等**に対して、地域包括支援センターで在宅医療・介護連携に関わる相談を受け付けていることを周知する。（各包括の担当地区等、含む）

# 白井市の在宅医療・介護連携相談窓口の運営方針

## 3. 実施内容・実施方法(続き)

(4) 地域包括支援センターは、必要に応じて**地域の医療・介護関係者と連携**しながら、在宅医療への移行も含めた**退院支援**を行う。また、市民に対して地域の医療・介護事業所等の紹介を行う。

(5) 運営にあたり、「白井市在宅医療・介護連携、認知症対策推進協議会」において運営方針を策定し、それに基づき相談対応を行う。

# 地域包括支援センターにおける在宅医療・介護連携に関わる相談対応の例

長女家族と暮らすBさん(78歳男性)

肺がん治療のため、病院に入院中。今後の治療について主治医と相談した結果、抗がん剤治療による副作用のため、一時中断して退院するに伴い、歩く際はふら

## 地域の医療関係者からの相談

した長女が看護師に相談すると、看護師は介護保険の申請を提案した。退院が3

**看護師**から地域包括支援

## 地域の医療・介護関係者の連携の調整

地域包括支援センターに連絡し、病院を訪問し、本人・家族・看護師と話し合う。介護保険申請、介護用ベッドレンタルの手配、**訪問診療・訪問看護の情報提供**など、**退院支援を病院と協力**して行った。



# **3. 課題別ワーキング 取り組み報告**

# 在宅医療・救急医療連携WG

1)「救急医療情報キット」の普及対策、  
運用上の課題把握・対策の検討

→成果



- ①キット普及啓発用DVDを使用  
した住民向け講話の実施(病院、地域包括)
- ②キット普及啓発用動画のPR
- ③シート情報の更新ルールを検討、  
市内3病院の協力得られる。
- ④情報更新用シートの作成(救急搬送歴、  
入退院履歴を記載欄を追加)



ときめきと  
みどりあふれる  
快活都市



よくある質問 | 施設を探す | 組織から探す

Google カスタム検索



市政トップ

くらし・手続き

子育て・教育

健康・福祉・医療

学ぶ・交流

産業・事業者情報

市政情報

### ！ 緊急情報

- 交通死亡事故多発中！
- 風しん予防接種費用の一部助成について
- 近隣の市で麻疹（はしか）が発生しています

? もしものときは

白井市ホームページ  
トップ画面に

- 市内の医療機関
- 休日・夜間の診療について
- 千葉県防災ポータルサイト
- 相談案内
- 救急医療キットについて

### 施設案内

- 施設マップ
- 施設一覧
- 公共施設予約サービス
- 文化センター・図書館



くらしの情報を探す

### ライフイベント

### よく見られるカテゴリ



妊娠・出産



入学・入園



成人したら



就職・退職



結婚・離婚



転入・転出



老後・介護



死亡・相続

手続き  
ナビゲーション

暮らしに必要な  
手続きを簡単検索！

暮らしの便利帳

市長室

教育委員会

白井市議会

学校給食共同調理場  
建替事業

シテイプロモーション  
サイト

白井でスクスク  
こどもナビ

高齢者の方へ  
長生きナビ

循環バス  
ナッシー号

## 白井市救急医療情報キットの配布

更新日：2018年11月22日

### 白井市救急医療情報キットの配布を行っています

自宅で具合が悪くなり救急車を呼ぶなど「もしも」の時の安心のために、65歳以上の1人暮らし高齢者等に対し、「救急医療情報キット」の配布をしています。

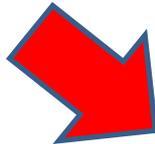
「救急医療情報キット」は、救急および緊急時に迅速な支援が行えるよう、緊急連絡先やかかりつけ医などの情報を専用の容器に入れ、自宅の冷蔵庫に保管することで、万一の場合に備えることを目的とするものです。



### 模擬訓練映像



救急医療情報キット  
普及啓発用の動画を  
追加



● 救急医療情報キット 配布実績 1,204本

期 間	自宅用シート配布数
H29年12月1日～30年3月末	225
H30年 4月1日～30年11月末	979

● 救急医療情報キット 活用実績

H30年4月～H30年11月末

65歳以上の 救急出動件数	救急医療情報キット	介護施設用シート
746件	37件	52件

# 在宅医療・救急医療連携WG

## 2) 介護施設における救急医療情報シートの普及、シート運用ルールの浸透に向けた対策の検討

現状：介護施設における救急医療情報シートの普及にばらつきあり。

シートが作成されていない施設では、救急時の情報収集に時間がかかっている。

# 介護施設における救急医療情報シートの普及にむけたワーキングの取り組みと提案

## <取り組み>

救急医療情報シートの普及が進んでいない施設を訪問し、シート作成について協力を依頼。

## <提案>

- 介護施設における救急医療情報シートの普及状況や救急時対応における課題について把握する目的で、アンケート調査をしてはどうか。  
アンケートを実施することで、啓発にもつながる。
- 施設における看取り体制・救急時対応力向上に向けた対策を関係機関(介護施設)が集まって協議する場があると良いのではないか。

多職種連携研修企画WG

市民啓発WG

入退院時連携WG

認知症対策WG(ポワールの会)

# **4. 第1回しろい在宅医療フォーラム 開催報告**

# 第1回しろい在宅医療フォーラム

平成30年12月9日(日) 13時30分～15時30分 参加者:64名

企画・運営 : 市民啓発ワーキング 9名

後援 : 印旛市郡医師会

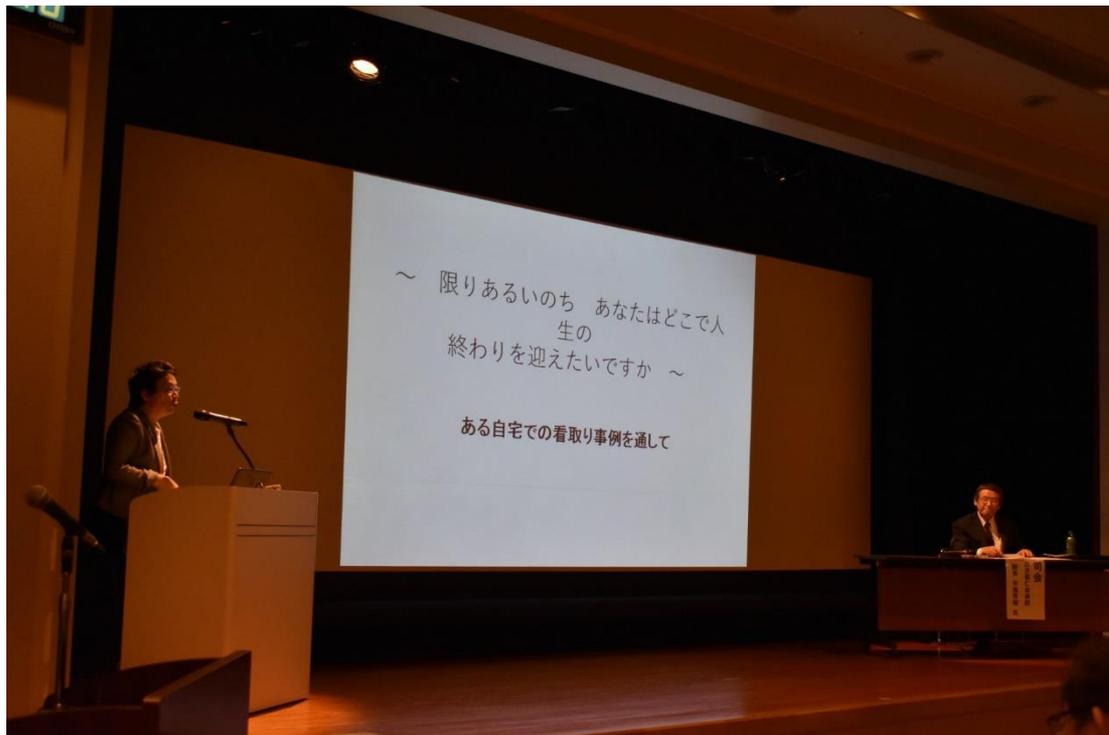
協力団体 : 印旛郡市薬剤師会白井支部、白井市リハビリ職連絡会、白井市介護支援専門員協議会、市内訪問看護ステーション、白井市ヘルパー連絡協議会、印西地区消防組合、在宅医療・救急医療連携ワーキング



# 第1部 リレートーク



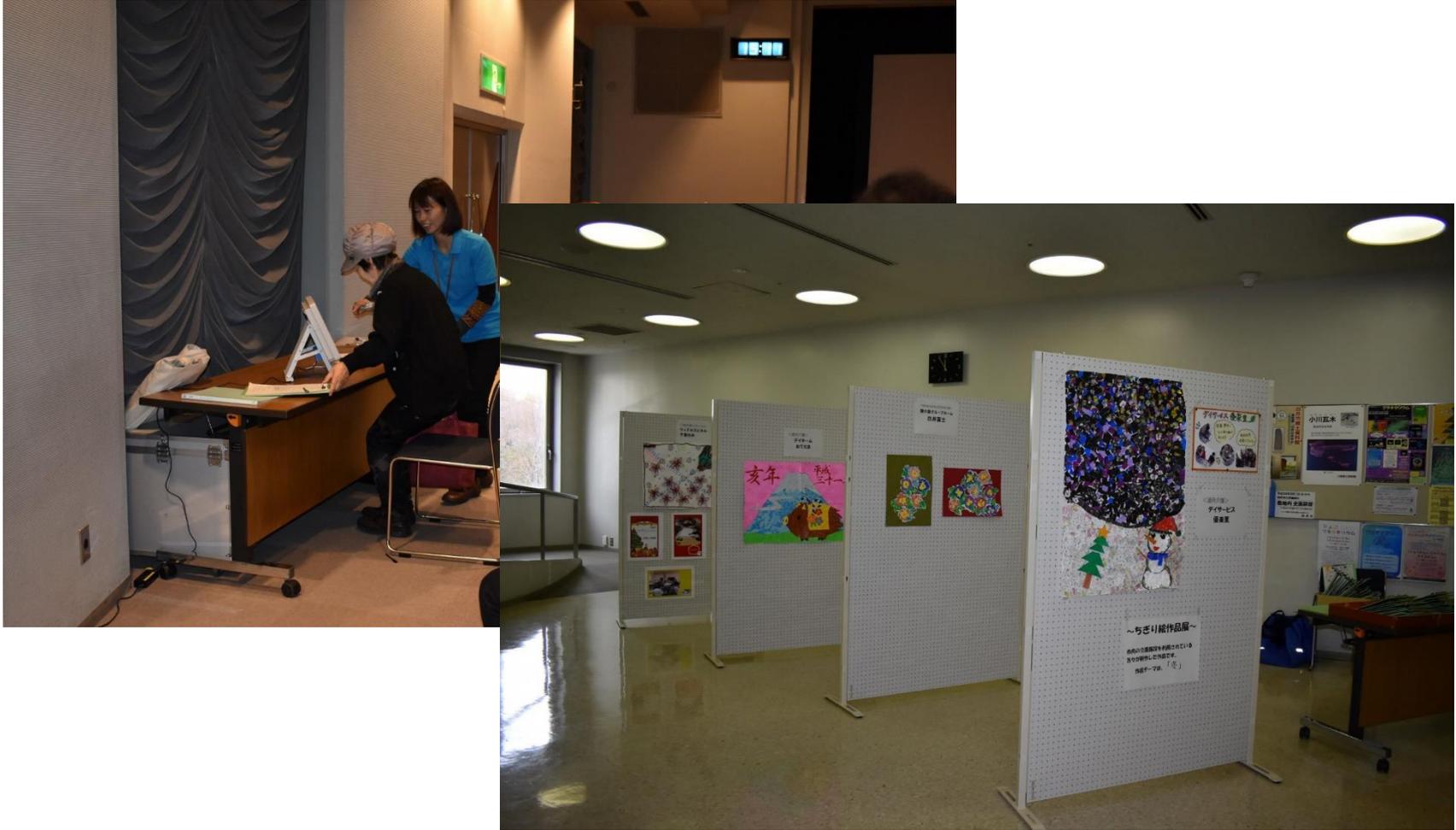
# 自宅での看取り事例の紹介



# 第2部 展示・相談コーナー



# ちぎり絵作品展・健康チェックコーナー



# 参加者アンケート結果

回収数64

## 1. 年齢別人数

	59歳以下	60～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳以上	不明
人数	14	16	23	9	0	2

## 2. 第1部(リレートーク、看取り事例の紹介)への評価

	とても良い	良い	普通	あまり良くなかった	良くなかった	不明
人数	27	26	7	1	0	3

## 3. 第2部(相談・展示コーナー、健康チェックコーナー、ちぎり絵作品展)への評価

	とても良い	良い	普通	あまり良くなかった	良くなかった	不明
人数	19	19	8	0	0	18